

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	難病情報センター事業費補助金			担当部局	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成8年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課		課長：田原 克志	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	難病情報センターの国庫補助について			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	難病患者や家族の療養上の悩みや不安に的確に対応するため、難病に関する国民の難病に対する普及啓発等を行うことにより、その療養生活の一層の支援を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下の事業を行う難病情報センター((公財)難病医学研究財団)に対して補助する。難治性疾患克服研究事業や特定疾患治療研究事業の成果、専門医・専門医療機関の所在や公的サービス、最新の認定基準、治療指針及び症例等の情報を収集、整理し、難病患者、家族及び医療関係者等に対して情報の提供を行う。(補助率:定額)							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	37	29	42	28	0	
	執行額	37	29	36				
執行率(%)	100%	100%	86%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎年度
	前年度の難病情報センターホームページアクセス数	難病情報センターホームページのアクセス数	成果実績	件	15,851,497	22,192,412	28,706,035	
			目標値	件	13,507,821	15,851,497	22,192,412	前年度以上
			達成度	%	117.4%	140%	129.4%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	難病情報センターの相談件数	活動実績	件	543	479	371		
		当初見込み	件	465	543	479	371	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりのコスト=X/Y X:「執行額」 Y:「難病情報センターホームページのアクセス数」		単位当たりコスト	円/件	2.2	1.3	1.3	1
			計算式	/	34,137,000 / 15,851,497	29,007,000 / 22,192,412	36,082,000 / 28,706,035	28,415,000 / 28,706,035
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	難病等情報提供事業費補助金	28						
	計	28	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	ホームページアクセス数は年々増加していることから、広く国民のニーズがあり、難病に関する総合的な情報を発信する事業であることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	難病に関する総合的な情報を発信している事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	ホームページアクセス数は増加しており、国民の難病に関する普及啓発という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	低コストで情報提供をしている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	会議費等、必要なものみに支出している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付申請書を審査し、補助事業の実施に必要な経費について交付決定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	HPの改修範囲が、当初予定していた範囲より小さくなったこと等により、HP改修費が予定より少額となったため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	毎年度、成果実績は成果目標の1.2～1.4倍で推移しており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	前年度のホームページアクセス数を見込みとしており、ほぼ見込みに見合った実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	ホームページアクセス数は増加傾向にあり、直接国民へ難病に関する情報を発信している実行性も高いことから、概ね妥当な事業である。			
	改善の方向性	難病情報センターのホームページアクセス数は年々増加しており、ニーズは高まっていることから、よりわかりやすい充実したコンテンツにしていく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	135	平成23年度	134	平成24年度	107
平成25年度	124	平成26年度	135		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
36百万円

交付申請書の内容審査、
交付決定、補助事業者の
指導監査等



A (公財)難病医学研究財団
36百万円

・特定疾患関連一般・専門情報の収集の実施
・特定疾患関連一般・専門情報の提供の実施
・患者等からの相談への対応
・難病相談支援センター間のネットワーク支援



【随意契約】

B 民間企業(9社)
14百万円

・HP改修業務
・HP保守・運用
・コピー機レンタル・保守

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)難病医学研究財団			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
賃金	情報処理技術員等雇上等	12.8			
使用料・賃借料	事務所等賃借料	8.7			
役務費	システム開発費等	6.8			
謝金	運営委員会等出席委員謝金等	4.1			
印刷製本費	情報センターパンフレット等印刷費	1.5			
庁費	パソコン消耗品購入等	1.2			
旅費	運営委員会等出席委員旅費	0.9			
計		36.1	計		0
B.(株)アジンコート			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役務費	システム開発、保守・運用	9.7			
計		9.7	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)難病医学研究財団	難病情報センター事業を実施する。	36	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アジンコート	システム改修・保守料	9.7	随意契約	-
2	(株)ソッキ・ビジネス	事務所賃借料	2.2	随意契約	-
3	(株)プロネスト	ホームページ保守管理(Webサイト保守)料	1.1	随意契約	-
4	(一財)環境イノベーション情報機構	サーバー賃借及び保守料	0.5	随意契約	-
5	東京センチュリーリース	コピー機レンタル	0.4	随意契約	-
6	浅野商事(株)	ホームページ保守管理(ファイルサーバ運用サポート)及びセキュリティソフト更新料等	0.2	随意契約	-
7	(株)大塚商会	コピー機保守管理料等	0.1	随意契約	-
8	日立キャピタルNBL(株)	シュレッダーリース料	0.1	随意契約	-
9	リコーリース(株)	プリンターリース料	0	随意契約	-